

## 報告書

A01-1 重力変化を含む力学的ストレスに対するメカノセンシング機構

所属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科システム生理学

役職・氏名：教授・成瀬恵治

派遣期間：2019年 9月 4日（水）～9月 9日（月）

派遣先：University Heart Center Freiburg-Bad Krozingen

---

用務：「学会参加・発表およびメカノセンシング機構専門家とのディスカッション」

内容：

メカノバイオロジー専門家の集まるMECミーティングに参加し研究成果発表（関連発表3題）を行うと同時に、多くの専門家とのディスカッションを行った。

Surry大学Dr. Camellittiとは心筋メカノセンシング機構に関するディスカッション、同大学若手研究者ともディスカッションを行った。2019年10月より同博士の研究室より学生を受け入れることになっている。また、岡山大学医学部学生を2020年春より派遣することになった。

Cincinnati大学内科Rubinstein博士は講演で我々のNature Communications 2014に言及されており、終了後メカノセンサーであるTRPV2に関する議論を行った。

当初予定にはなかったが、FreiburgGより一時間の場所にあるStrausburgにて当講座出身の松浦現岡山理科大学准教授とNanoparticleによるDrug Deliveryに関して、田島（後藤）博士とは抗ウイルス免疫・抗がん免疫に関する最新情報およびディスカッションを行った。



Dr. Rubinstein

